

中央公民館

佐倉地区の概要

佐倉地区は、京成電鉄軌道の北側の旧内郷村地区と南側の旧城下町地区とに大別される。

内郷地区は、宮前地区で宅地開発が進み、その他の地区は田畑が広がっている。また、印旛沼を北にのぞみ、佐倉草ぶえの丘、市民の森、岩名運動公園などの施設がある。

京成電鉄とＪＲ総武本線、鹿島川にはさまれた旧城下町地区は、未だに城下町当時の面影が所々に残っており、国立歴史民俗博物館、佐倉城跡、武家屋敷、順天堂記念館、平成１８年に国の重要文化財（建造物）に指定された旧堀田家住宅及び、庭園を含む一帯は「旧堀田正倫庭園」として平成２７年３月に国の名勝に指定されるなど、歴史と文化の環境に恵まれている。平成２８年４月には「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」として佐倉市、成田市、香取市、銚子市の四都市が「日本遺産」に認定された。また、城下町の面影を残す台地上に、市役所、裁判所、検察庁そして、佐倉図書館、市民体育館、市立美術館など公共施設が集中しており、商店街も形成している。

中央公民館は、この台地の南側の低地に佐倉保育園と並んで建っている。付近には、平成１１年３月に建設された千葉県印旛合同庁舎がある。ＪＲ佐倉駅、京成佐倉駅ともに徒歩１５～２０分、最寄りバス停から１０分の場所に位置する。

佐倉地区のデータ

【令和５年３月末現在】

- 佐倉地区：面積 約 20.6 km² （佐倉市：面積 103.69 km²）
- 佐倉地区：住基人口 27,658人 （佐倉市：住基人口 171,037人）
- 佐倉地区：人口密度 1,342人/km² （佐倉市：人口密度 1,649人/km²）

1. 公民館運営計画

新型コロナウイルス感染拡大防止

施設利用者等の健康と安全を最優先に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じていく。

感染状況に応じて、臨時休館や一部開館、開館時間の短縮などを実施する。

開館中は、施設内の消毒を適宜実施、感染予防の啓発のほか、状況に応じて、部屋の定員や集団感染のリスクが高いとされている活動の利用を一部制限する。

計画事業は、感染リスクを回避する方策を工夫し、無理なく実施可能な事業を見極めながら実施していく。

※市公共の集会施設合同で策定した『新型コロナウイルス感染症拡大防止の注意事項』『集団感染拡大のリスクがあると考えられる活動における施設利用の留意点』を当面の間適用する。

運営方針

歴史のまち佐倉の生活・文化の向上と、ふるさと佐倉のまちづくりに携わる市民の連帯意識を高めるため、だれもが学習しやすい公民館、集会活動のよりどころとなる公民館、親睦を深める場となる公民館として生涯学習のねらいを達成すべく、社会教育活動の中心施設としてその役割を果たすことを目指す。

努力目標

- 新型コロナウイルス感染拡大防止対策に努める。
- 利用者に対して、快い適切な対応をするように努める。
- より多くの方に利用してもらうよう施設設備の提供に工夫をすると共に、安全管理に努める。
- 社会状況の変化を踏まえ、次代を見据えた学級・講座の充実に努める。
- 公民館に関係する各種団体との連携を図り、活動の支援に努める。

事業内容

1. 施設・備品の提供

(1) 施設の提供（団体、グループ単位）

- ① 開館時間 午前9時から午後9時まで。
ただし、月曜日・祝日・夜間利用がない場合は、午後5時まで。
- ② 利用区分 1時間単位
- ③ 休館日 第2・第4月曜日、及び年末・年始（12月28日～1月4日）。
※感染状況に応じて、休館や開館時間の短縮を実施

(2) 備品の提供（団体、グループ単位）

館外貸与できるもの 机、椅子、拡声装置、視聴覚機器、視聴覚教材

2. 学級講座

地域の特性を活かした、各世代に応じた学習機会の提供と学習内容の充実

3. 団体育成事業

利用団体や関係団体の学習活動と地域活動の支援

4. 広報事業

施設や関係団体の情報提供、SNSを活用した情報発信の推進

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区 分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
利用件数 (件)	5,364	4,720	1,649	3,490	4,428
利用人数 (人)	104,261	90,628	25,061	44,767	53,692
開館日数 (日)	333	318	272	334	335

※開館日数が他館より多く、利用可能回数（下記）が施設により違う理由
下記の貸館があったため

- ・令和 5 年 2 月 13 日（月） 市長・市議会議員選挙立候補予定者説明会
- ・令和 5 年 2 月 27 日（月） 臨時校長会

令和 4 年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
大ホール	3,852	2,132	55.3%
研修室 1	3,844	1,273	33.1%
プレイルーム	3,844	302	7.9%
研修室 2	3,844	1,391	36.2%
研修室 3	3,844	1,274	33.1%
調理室	3,844	434	11.3%
和室	3,844	827	21.5%
会議室	3,844	1,230	32.0%
アトリエ	3,844	1,053	27.4%
工芸室	3,844	597	15.5%
学習室 1	3,844	1,395	36.3%
学習室 2	3,844	1,185	30.8%
学習室 3	3,845	1,411	36.7%

領域	事業名	対象	期間・回数	内容		
家庭教育	親子で土いじり 「初めての陶芸にチャレンジ！」	小学1年生～3年生と保護者 7組	7/30 7組14人 8/20 7組12人	親子で土とふれあい、協力してものづくりすることにより、コミュニケーションを図る機会とするとともに、陶芸の基礎を学ぶ。		
	親子でアート 「窓ガラスお絵かきワークショップ」	小学生と保護者11組	8/9 11組32人	中央公民館の窓ガラスに自由にお絵かきをしてもらうことで、子供たちの自由な感性を育むとともに、親子で一緒にアートすることの楽しさを実感してもらう。		
	親子でアート 「道路アートワークショップ」	小学生と保護者12組	8/22 15組41人	中央公民館の周囲の道路（駐車場）に親子で自由にお絵かきをしてもらうことで、親子で一緒にものを創り出すことの楽しさを感じてもらう。		
青少年教育	夏休み子どもゼミナール	小学5年生以上と家族 20人または25人	7/27 24人 8/2 16人 8/10 21人 8/27 16人	星空観察や環境等(天気・廃油石鹸・牛乳パック葉書)について専門の講師を招き少人数制で体験的に学ぶ。星空観察は和田公民館との共催。		
	四季の草木染めワークショップ	小学校4年生以上 10人	10/1 9人 12/10 10人 3/4 10人	藍の生葉や落葉など身近な素材を使って草木染めを学ぶ。		
	夏休み学習ルーム	小学生から一般市民まで	7月下旬～8月中	夏休み期間中、自主学習の場を提供する。		
佐倉学	手作りのしめ縄飾りを作ろう！	小学4年生から高校生 10人程度	12/25 7人	しめ縄を作ることで、日本の伝統文化を学ぶ。		
	成人教育講座 「生活を楽しむ 竹細工の魅力」	成人 30人	12/4 27人	座学と竹細工の工作体験を行う。		
成人教育	シニア向けスマホ・タブレット講座 ～LINEとキャッシュレス決済を活用しよう～	60歳以上 各回8人	8/19、8/26 9/ 6、9/20 9/29、10/11 10/27、10/28 11/ 2、11/17 11/25、11/30 全12回 計87人	コロナ禍において新しい生活様式に対応するため、高齢者のICT活用支援を図り、市の情報受信に有効なLINEと、今後も活用の拡充が見込まれるキャッシュレス決済などについて学ぶことのできる講座を、市内6地区の各公民館で実施する。		
	佐倉市民カレッジ	《であい課程》 第1学年 第2学年 2年間の学習コース	第1学年	成人 50人	5月～2月 32回	高齢化社会の中で、市民が健康で生きがいを持ち、地域と連携をもちながら、住みよいまちづくりを考え、実践をとおした生涯学習の場とする。「であい課程」では、主に一般教養科目を学ぶ。その領域は、健康・家庭・生きがい・経済・佐倉の歴史・環境・市政・福祉・国際理解・仲間づくり等である。「専攻課程」は、福祉・歴史・情報・元気の4分野に分かれて行う専門別学習コースであり、卒業後の実践活動に役立たせるために、体験学習、話し合い、発表等の学習方法を取り入れている。
			第2学年	成人 56人	5月～2月 32回	
		第3学年	成人 66人	5月～2月 22回		
		第4学年	成人 63人	5月～2月 23回		
	《専攻課程》 第3学年 第4学年 2年間の学習コース (以下の4コース) あったか福祉コース ふるさと歴史コース さわやか情報コース ゆっくり元気コース					
広報活動	ホームページ	市民	随時	中央公民館の主催事業等を掲載し、情報を提供する。		
	SNS・YouTube	市民	随時	中央公民館の情報を発信する。		

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
視聴覚ライブラリー事業	視聴覚機器貸出	登録団体	随時	視聴覚ライブラリー所有機材・教材の貸出を行う。

1. 家庭教育事業

親子で土いじり「初めての陶芸にチャレンジ！」

- ①開設趣旨 親子で土とふれあい、協力してものづくりをすることにより、コミュニケーションを図る機会とする。また、陶芸の基礎を学ぶ。
- ②募集対象 小学1年生～3年生と保護者 7組
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月30日（土） 9：30～ 12：00	親子で陶芸を体験する。	陶芸家 安本 幸世
2	8月20日（土） 9：30～ 12：00	作品に絵付けをする。	陶芸家 安本 幸世

- ④講座を終えて 親子で土いじりというテーマで、昨年に引き続き陶芸体験を行い、親子7組の参加があった。アンケート結果を見ると、「満足」「楽しかった」とする回答がほとんどで、「次回も参加したい」とする意見が多数を占め、満足の高い事業であったと考えられる。また、全体的に時間に余裕をもって事業展開することができ、参加人数についても講師から細かいアドバイスを得る上でも適正であったと思われる。

親子でアート「窓ガラスお絵かきワークショップ」

- ①開設趣旨 中央公民館の窓ガラスに自由にお絵かきをしてもらうことで、子供たちの自由な感性を育むとともに、親子で一緒にアートすることの楽しさを実感してもらう。
- ②募集対象 小学生と保護者 11組
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月9日（火） 10：00～ 12：00	中央公民館1階ロビーの窓ガラスに、親子で絵を描いてもらう。	久本 綾 (アトリエティエラスールこども造形教室講師)

- ④講座を終えて 去年に続き、感染対策を取りながら、大人も子供も一緒に楽しめるイベントを目指し実施した。今年のテーマが森だったので、市内図書館所蔵の森関連の書籍20冊を展示、本を読んでもらいながら先生のお話も聞き、参加者全員で森のイメージを共有した。この時間があつたことで、参加者同士打ち解けた雰囲気になり、去年よりも個性がありながらも一体感のある作品に仕上がった。大人用の見学席もあえてなくし、子供と一緒に一つ一つの作品を作り上げた。アンケート結果をみると大人の満足度も非常に高く、子供だけでなく大人も楽しめる事業になった。

親子でアート「道路アートワークショップ」

- ①開設趣旨 中央公民館の周囲の道路（駐車場）に親子で自由にお絵かきをしてもらうことで、親子で一緒にものを創り出すことの楽しさを感じてもらう。
- ②募集対象 小学生と保護者 12組
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月22日（月） 10:00～ 12:00	中央公民館周囲の道路（駐車場）に、親子で絵を描いてもらう。	久本 綾 （アトリエティエラスールこども造形教室講師）

- ④講座を終えて 道路アートワークショップは去年度から始まった窓ガラスお絵かきワークショップと連動する形で、テーマを海に設定し実施した。窓ガラス同様、普段は描けない素材、場所に絵を自由に描いてもらうことで、子どもたちの自由な感性を育むとともに、なかなか遠出できないコロナ禍の中、夏休みの思い出にしてもらいたいという趣旨から企画した。窓ガラスでは、描くスペースを各組ごとに1枚の窓ガラスという形で区切ったが、道路アートは屋外であったことから、描くスペースは区切らず自由に描いてもらった。その結果、初めて会う参加者同士が友達になる場面が多々見受けられ、参加者同士が繋がる空間を提供できたと思う。子供の保護者である大人も夢中になって描いており、アンケート結果では、大人も子どももどちら側からも高い評価をいただき、満足度の高い事業となったと思う。

2. 青少年教育事業

夏休み子どもゼミナール

- ①開設趣旨 科学分野の専門家の方々を講師に招き、少人数制でゼミ形式の講座を開催することにより、子どもたちに科学について興味を持ってもらうことをねらいとする。令和4年度は、下記「③プログラム」の分野にて講義を行っていただいた。
- ②募集対象 小学5年生以上と家族 20人か25人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月27日（水） 14：00～ 16：00	牛乳パックDE紙すきハガキ作り 牛乳パックを原料に紙すきをして色とりどりのうちわを作って「紙のリサイクル」を学ぶ。	千葉県温暖化防止 活動推進員 廣田 由紀江
2	8月 2日（火） 10：00～ 11：30	天気を予想できるナゾ 天気予報の仕組みを分かりやすい解説で学ぶ。	銚子地方气象台 石文 希、久山 巧
3	8月10日（水） 14：00～ 16：00	廃食油で作る「ふりふり石けん」 廃食油（揚げ物に使った後の油）から石けんを作って「リサイクル」がごみを減らし温暖化防止につながることを学ぶ。	千葉県温暖化防止 活動推進員 廣田 由紀江
4	8月27日（土） 19：00～ 20：30	天体望遠鏡で星空観察 天体望遠鏡で星を実際に観察することで、星がどのように見えるのか学ぶ。	天体観望会支援グループ「宇宙魅せ隊」代表代行 芳野 雅彦

- ④講座を終えて 「紙すきハガキ作り」と「ふりふり石けん」は同じ講師によるもので、講師ご自身の人柄もあってか、全体的にはほんわかとした楽しい講座になった。参加者は地球温暖化等の環境問題に関心を高め、工作を楽しんでいた。
- 「天気を予想できるナゾ」は昨年度も行っており（前述の「紙すきハガキ」も）、応募は昨年度より減少したが、雲や竜巻のできる仕組みや天気を予測できる機器、さらに少し災害にも触れていた。雲や竜巻を作る簡単な実験も行い、それが参加者の興味をさらに引いたようだった。
- 「天体望遠鏡で星空観察」も毎年継続的に行っているが、天体を直に見られる機会であるため、毎年、人気が高い。今回は若干雲が出ており、はっきりと天体を見ることは難しいようだったが、参加者は望遠鏡を通した天体を見ることができて大変満足し、天体にもさらに興味を持ったようであった。また、望遠鏡で映した画像をパソコン等の画面に映して皆が一度に見られるようにする「テレビ観望」をこの講座で初めて行い、参加者たちも興味深く見ていた。
- 講師はZOOM等を経由した「オンライン観望会」を何回か過去に行っているとのことで、講座開始前にそのテストも行った。今後、悪天候や感染症拡大等により参加者が外出できないときに活用できるかもしれない。

四季の草木染めワークショップ

- ①開設趣旨 身の回りの草花野菜から色を抽出して布を染める体験を通して、佐倉市の四季の移り変わりを実感し、佐倉の自然の豊かさを学んでもらう。また天然染料によって生み出す「布」作りを通して、「布」、ひいてはモノを大事にする心を養う。

②募集対象 小学4年生以上 各10人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	10月 1日(土) 9:00～ 12:00	身近な草で染めよう ～セイタカアワダチソウ～	染織家 濱口 さえこ
2	12月10日(土) 9:00～ 12:00	香りも楽しみながら染める －月桂樹－	
3	3月 4日(土) 13:00～ 16:00	藍の干し葉染めを楽しむ	和田はたおり保存会

④講座を終えて 今年度は3回実施したが、1回目、2回目の講師は染織家の濱口さえこさん、3回目は和田はたおり保存会の皆さんにお願いしたため、1、2回目と3回目で進め方の部分などで多少違うところはあったが、どの回も熱心な参加者が多く、参加者間の交流も活発で、満足度の高い講座になった。毎回抽選となり、人気も高いが、参加者が部屋の関係で10名と少ないので、多くの方に参加いただけるような仕組み、内容について検討していきたい。

手作りのしめ縄飾りを作ろう！

①開設趣旨 日本には新年を迎えるための行事の一つとして、しめ縄飾りを作る習慣がある。しめ縄飾りは、作物の豊作や幸福を運んでくれる歳神様を迎えるための行事で、今回は玄関に飾れる「輪飾り」を作る。

日頃作ることがないしめ縄飾りを自分の手で作ることにより、日本の伝統文化に対する理解や関心を持ってもらうことをねらいとしている。また、素材となるワラについては、地元生産者の協力を求めて、地域産業を知る機会にもする。

②募集対象 小学4年生から高校生とその保護者 10人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	12月25日(日) 9:30～12:00	基本的に1人1つの「輪飾り」を作る。家族単位の参加も可能とし、その場合は、親子で1つの飾りを作るものとする。	市内ワラ生産者 藤崎 言行

④講座を終えて 日本の伝統文化を学ぶ場として、地元農家の協力を得て昨年に引き続き本講座を実施したが、応募状況は低調で、当日は7人の子供たちにしめ縄飾り作りを体験してもらった。初めての体験に戸惑う子もいたが、熱心にしめ縄飾り作りに取り組んで、全員時間内に完成することができた。アンケート結果では全員が「楽しかった」と回答、「次回も参加したい」が大勢を占めた。今後の事業展開としては、応募状況やワラなどの材料確保の問題等を勘案し、事業の見直しも検討していきたい。

3. 成人教育事業

成人教育講座「生活を楽しむ 竹細工の魅力」

①開設趣旨 伝統技法の研究・創作活動に取り組む「佐倉竹芸保存会」を講師に招き、竹芸の魅力を語っていただき、その作品を鑑賞するとともに、実際に会のメンバーの指導で工作体験をしていただくことにより、身近な素材を用いた物づくりの楽しさを学び、芸術文化を愛し、自らの生活を豊かにするきっかけづくりの場とする。

②募集対象 成人 30人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月 4日（日） 9：30～ 12：00	「佐倉竹芸保存会」の概要説明とパワーポイントを使った「竹」の特性に関する講義、グループ分けをして「握り籠づくり」の工作体験、保存会メンバーの作品展示	佐倉竹芸保存会

④講座を終えて 昨年に引き続き2回目の講座となったが依然として人気が高く、定員を超える申し込みがあった。都合により不参加の者も出て、当日は27人で実施したが、講義を真剣に聞き、熱心に握り籠づくりに取り組む姿が見られた。昨年よりも指導者数を増やしたことも、円滑な事業展開につながった。アンケート結果を見ても参加者の満足度は高く、受講後の自発的な活動にも期待が持てる。なお、指導者の竹芸保存会にとっても、会員のスキルアップにつながっているとのことであった。

シニア向けスマホ・タブレット講座 ～LINEとキャッシュレス決済を活用しよう～

①開設趣旨 コロナ禍において新しい生活様式に対応するため、高齢者のICT活用支援を図り、市の情報受信に有効なLINEと、今後も活用の拡充が見込まれるキャッシュレス決済などについて学ぶことのできる講座を、市内6地区の各公民館で実施する。

②募集対象 60歳以上 各回8人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師	会場
1	8月19日（金） 10:00～ 12:00	LINE及びPay Payについての講 習	シルバー人材セ ンター パソコン班	志津公民館
2	8月26日（金） 10:00～ 12:00			
3	9月 6日（火） 10:00～ 12:00			白井公民館
4	9月20日（火） 10:00～ 12:00			
5	9月29日（木） 14:00～ 16:00			和田公民館
6	10月11日（火） 14:00～ 16:00			中央公民館
7	10月27日（木） 14:00～ 16:00			弥富公民館
8	10月28日（金） 14:00～ 16:00			和田公民館
9	11月 2日（水） 14:00～ 16:00			中央公民館
10	11月17日（木） 14:00～ 16:00			弥富公民館
11	11月25日（金） 10:00～ 12:00			根郷公民館
12	11月30日（水） 10:00～ 12:00			

④講座を終えて 今回の講座は初心者向けにLINE及びキャッシュレス決済の基本的操作、活用を中心に講義と実習を交えて実施した。参加者1名に対し2名のサポーターが

く丁寧な実習を行ったため、アンケートでは、多くの参加者が「よかった」と答えており、概ね満足した事業実施ができた。ただ少数の方から不満の意見もあり、初心者向け対象とはなっていたが、各参加者の携帯を使えるレベルは様々で、参加者の期待と講座内容のマッチングが課題として挙げられる。

4. 高齢者教育事業

四年制高齢者大学校「佐倉市民カレッジ」

1. 開設までの経緯

中央公民館では、年々増加する高齢者が、社会の変化とともに歩み、自己の能力を伸ばし社会活動へ参加し充実した生き方ができるよう、昭和53年5月に「佐倉市高齢者短期大学校」(以下短大)を開設した。短大が数年経過すると学生の学習意欲が高まり、卒業した学生からさらに学びたいという希望が生まれ、短大6期生より自主的に2年間の学習を行う「生きがい学園」が誕生した。また、短大生たちの中で4年間続けて学ぶことの意義が認識され、短大の学習内容のひとつである「市長への提言」にて「高齢者のための四年制の大学校の設置」という提言がなされた。そして、公民館運営審議会委員、福祉関係有識者、短大卒業生を含めた「高齢者の望ましい姿を考える会」が発足し、四年制大学校の設置の概要と方向性として、地域活動の実践、郷土佐倉を愛する心の育成、40歳以上への学習機会の提供などが示された。

このような経緯を踏まえて、公民館棟に接続して四年制大学校の専用校舎を建設し、「佐倉市民カレッジ」という名称のもと平成4年5月に開設した。初年度は40歳以上60歳未満の20人を含む第1学年100人、短大の卒業生が編入した第3学年96人の2つの学年によりスタートした。そして、平成5年度より新1年生と短大の編入生である新3年生を含めた4学年が揃い、本格的な四年制大学校としての歩みを始めた。

2. 開設の趣旨

佐倉市民カレッジは、高齢化社会(現在は超高齢社会)の中で、市民が健康で生きがいを持ち、地域との連携をもちながら住みよいまちづくりを考え、実践をとおして生涯学習のできる場となるよう開設されている。

また、佐倉市民カレッジ(以下、市民カレッジという。)では高齢者のみならず、高齢準備期である40歳代からの人にも学習の機会を提供し、高齢者と互いに学び、支え合うことを大切なねらいとしている。

3. 新型コロナウイルス感染防止対策

令和2年より世界的に大流行している新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和3年度より、以下の感染拡大防止策を講じながら開講している。

- ・入学定員の減少(100名から80名に)
- ・風邪症状のあるときは欠席。来館時はマスク着用
- ・3密を避けながらの講義(例えば、1年生及び2年生の授業を人同士の間隔が十分に取れる大ホールで行う)
- ・講義中は窓やドアを開け換気を行う
- ・手指消毒及び使用後の教室の消毒の徹底
- ・感染防止等の事情のために来館できない生徒のため、期間を限定し、授業を佐倉市民カレッジ掲示板ウェブサイト上で動画配信する。生徒は動画を視聴し、自己申告取得単位報告書を当館に提出することで単位を取得できるようにした
- ・1日の授業時間を午前または午後の半日とする
- ・館内での水分補給以外の飲食禁止
- ・施設見学等の課外活動は極力控える
- ・入学式・始業式及び卒業式・修了式を学年毎に分散開催

4. 入学対象・定員

(1) 入学対象者

- ①佐倉市に在住する40歳以上で、4年間継続して通学できる人
- ②積極的に自主学習ができる人
- ③卒業後は地域活動に積極的に参加できる人

(2) 定員：下記のとおり（先着順）

なお、令和4年度の応募・入学状況は以下のとおりである。

募集学年	募集定員	応募数	入学者数
第1学年	40歳以上 80人	50人	50人

※令和4年度の学生数

学 年	クラス コース	入学・進級者		修了・卒業者	
		人 数	小 計	人 数	小 計
第1学年	1 組	25	50	25	48
	2 組	25		23	
第2学年	1 組	30	56	30	56
	2 組	26		26	
第3学年	福 祉	18	68	18	66
	歴 史	17		17	
	情 報	18		17	
	元 気	15		14	
第4学年	福 祉	12	63	12	63
	歴 史	18		18	
	情 報	21		21	
	元 気	12		12	
計			237		233

5. 佐倉市民カレッジの学習内容

(1) 「であい課程」の学習

市民カレッジの学習期間は4年間であるが、その前半の2年間は「であい課程」である。主に一般教養として、佐倉の歴史、文化、健康、家庭、生きがい、法律、環境、市政、福祉、経済等の広い分野を学び、共に学ぶ仲間をつくる。また、「であい課程」では、今までの生活になかった自分とであい、仲間とであい、地域とであう中で、新たな生きがいを見つけることを学習のねらいとしている。

「であい課程」2年間の学習日数は約60日に及ぶ。その学習形態は講義形式のほか、話し合い、身近な公共施設などについて学ぶ市内めぐり、いくつかのグループに分かれ、テーマを設定してその内容について討議し、代表者が発表するグループ発表、また個人発表、健康運動などの実習などと様々である。このほか、学生が自ら考え、自己責任において行う地域活動の自己申告取得単位制度を設けている。

「であい課程」1年では、「私の生きがい」をどのようなものに求めているか、何が生きがいになっているのか等自分の生きがいについて考え、お互いに発表し合って相互理解を深め、文集「私の生きがい」にまとめる課題がある。

2年の「市政を学ぶ」の学習テーマでは、実際に市政に携わっている市役所の職員等を講師として招き、市民公益活動の推進、基本計画と財政、環境と環境保全、福祉と健康、教育施策「佐倉学」等について学習する。それをもとに、個々に自分の考えるまちづくり構想をもち、各グループに分かれて実践活動を行い、その成果を「まちづくり実践報告会」で発表した。

一連の学習の過程で、個々に市政についての理解を深めるのが大きなねらいである。

(2) 「専攻課程」の学習

3年生からの「専攻課程」では、講義と実践をとおして、卒業後も地域で生き生きと活動ができるようになることを目標として設置している。

また、地域活動をすることで単位を取得する自己申告取得単位制度を設け、学生が自主的に学習できる体制を整えている。

「専攻課程」には4つのコースを設けている。学習日数は2年間で40日程度である。コースの名称は「あったか福祉コース」「ふるさと歴史コース」「さわやか情報コース」「ゆっくり元気コース」である。

①「あったか福祉コース」

社会福祉全般の理論の学習や実習を通して、福祉活動を考え実践できることを主眼としている。3年生では、障害福祉、高齢者福祉、福祉サービスなどの福祉全般に関する知識や、車いすの操作方法、視覚障害者の歩行誘導などの障害者との基本的な接し方を学ぶ。

4年生では3年時の学習に加え、講義で福祉関連の知識を広げるとともに、傾聴の実習や、自分たちが学んだ介護技術を他コースの生徒に教える「学び合い学習」で、実践的な学習にも取り組んでいる。

「傾聴」をテーマとした学習は「他を認める」「話を聞く」「話をする」という、人と人の交流の基本を学び、人が地域社会を構成していく中で必要な「コミュニティ」形成の原点を学ぶことである。これは市民カレッジ学習の基本である「地域づくり」を根本から学んでいくことにつながると考える。

②「ふるさと歴史コース」

郷土佐倉の歴史、先覚者、歴史的町並みについて学び、郷土佐倉を愛する心を育てていく。その内容は講義形式の授業を受けるだけでなく、自主的にテーマを設定して研究レポートを作成し、発表する主体的な学習を行っており、さらに、今後の地域活動につながるよう、他コースに佐倉の史跡を案内して教えるという「学び合い学習」を行っている。

現在、卒業生による「歴史ボランティア」グループが結成されており、歴史コースでの史跡散策案内や学習補助をボランティアで行っている。

③「さわやか情報コース」

デジタルデバイスと言われる情報格差を埋めると同時に、デジタル技術を使用した情報発信を学ぶことで地域の情報の共有化を進めることを目的として、様々な学習を行っている。

情報化社会一般の現状についての講義を聴くほか、情報を伝達する機器を利用して、自主的に地域活動ができるようになるために、3年生では基礎からのパソコンやスマートフォンの実習や、動画を使った情報発信、4年生ではパソコンの学習成果を活かした実習を行っている。また、地域活動における名簿作りや、会計資料作成に役立つように表計算ソフトの講義も行っている。また学習日以外の、パソコン自主学習も盛んである。

④「ゆっくり元気コース」

自分の健康管理を自分で行うために必要な知識の習得を講義・実習をとおして行う。3年生では「歩くこと」を健康づくりの基本と考え、ウォークラリーのコースをカレッジ生が自主的に作成する。作成されたコースが市民カレッジや地域の行事に活用されることにより市民カレッジ生の地域参画が期待される。その他、生活習慣病に対する理解と予防、フレイル予防などについて学ぶ。さらに、太極拳やヨガなどの実習をとおして、自分に合った健康づくりを発見する。

4年生では、実践活動と今までの主体的な学習の過程や成果を通じて健康の維持と地域活動への導入を図る。また、各種スポーツイベントに参加し、多様な健康づくり、レクリエーション等への理解を深めるとともに事業の企画運営を考察する。そのほか、健康づくりに関する今後の自分たちの活動について話し合う学習も行っている。

「専攻課程」の学習のまとめとして、それぞれのコースで学習したことを他に伝え・教えることで「学び」を一層深めていく時間として「学び合い学習」を行った。

また「学んだことを活かす」というテーマでそれぞれのコース内で個人発表や話し合いを行い、そして、各コースの代表者による意見発表が行われた。

カレッジでの学習成果や、現在自分が行っている地域活動を紹介する中で、今後の自分の高齢者としての生き方について、長年蓄積した豊かな知識と経験から意見を発表する。それをいかに実践していくかが、市民カレッジを卒業してからの課題となる。

6. 佐倉市民カレッジの学習の特色

市民カレッジでは、学習の質を高め、より専門的な学習を行っていくために、他の機関・施設の協力を得て学習を展開している。国立歴史民俗博物館、千葉地方検察庁、佐倉警察署、千葉県立中央博物館、広域高速ネット296、順天堂大学、NPOニッポンランナーズ、東京情報大学、福祉施設などから講師派遣の協力をいただいている。

また、これらを含めた令和4年度の主な校外学習は、以下のとおりである。

令和4年度は前述のとおり、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、校外学習を極力控えている。

○校外学習

1 学年	6 月 3 日		1 年生歓迎ウォークラリー 坂道・小径をたどり城下町佐倉を歩く
	7 月 8 日	1 組	地域活動の実践者に学ぶ（現地視察）
	7 月 15 日	2 組	
	9 月 16 日		ミテ・ハナソウ体験（佐倉市立美術館）
3 学年	5 月 25 日	歴史	大佐倉の歴史散策
	6 月 15 日	歴史	臼井の歴史散策
	10 月 14 日	歴史	成田山の歴史を学ぶ
	10 月 26 日	歴史	佐倉地区の歴史散策
	11 月 2 日	元気	ウォークラリーコースを作ろう
	11 月 16 日	歴史	志津の歴史散策
4 学年	5 月 31 日	歴史	新町の歴史散策
	6 月 3 日	元気	1 年生歓迎ウォークラリー 坂道・小径をたどり城下町佐倉を歩く
	6 月 28 日	歴史	佐原のまちづくりを学ぶ
	12 月 20 日	元気	ノルディック・ウォーク

7. 令和4年度の主な行事

(1) 入学式・始業式

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入学式・始業式は、分散し学年ごとに行った。

入学式は5月13日（金）に行われ、50人の新入生が晴れの日を迎えた。

佐倉市長・西田三十五総長から「皆様は、佐倉市民カレッジ 第30期生として、これからの四年間、佐倉の歴史、自然、文化など郷土について学ぶほか、地域の課題となっている分野についても、学習に取り組んで頂きます。佐倉市民カレッジの建学の精神は「為すことによって学び、学ぶことによってお互いを高めあい、他に尽くす」でございます。皆様におかれましては、健康に十分留意され、互いに助け合い、励まし合いながら、新たな仲間と過ごす日々を大切に、地域の中で活躍できる場を、創造していただくことを、切に願っております。」（抜粋）との祝辞をいただいた。続いて、在校生から「歓迎の言葉」が新入生に贈られ、これを受けて新入生は「入学の言葉」を話した。

始業式は5月10日（火）に4年生、翌11日（水）に3年生、その翌日12日（木）に2年生について行われた。

(2) 佐倉市民カレッジ文化祭

例年、11月上旬～中旬に4日間にわたり、カレッジ生による実行委員会を中心に中央公民館大ホール・カレッジ棟を主な会場としてグループ活動や展示活動が行われ、卒業生もグループ活動発表（パネル展示・研究発表等）をして、多くの方々が交流と親睦を深める「佐倉市民カレッジ文化祭」が開催されている。

今年度は、新型コロナウイルス感染対策を講じながら、3年ぶりに対面での文化祭を11月8日（火）～12日（土）に開催した。感染対策のため、例年行われる「舞台発表の部」及び「喫茶の部」に代えて「音楽祭」及び「チャリティバザー」を実施するという新しい形での開催となった。チャリティバザーは大盛況で、売り上げが10万円を超え、佐倉市社会福祉協議会に全額を寄付した。また、展示作品、研究発表、音楽祭は、

それぞれに万感の思いが込められた力作揃いであった。

(3) 「まちづくり実践報告会」(2年)

2年生は、私たちの考えるまちづくりについて、行動の為の具体策を話し合い「まちづくり実践報告会」を実施した。この学習は、カレッジ生個々の市政に対する学習の取り組みを重視する形を取り、市政の学習を基に自分ならこのようなビジョンを持つと個々に考えをまとめ、その後に課題意識を同じくする仲間グループ(課題部門別)を形成し、各グループ別に調査研究、討議を重ねた内容を実践し、それらの実践活動を、令和5年1月12日(木)に1・2年合同の学習形態で、また、1月19日(木)に西田三十五総長を迎えて、代表者による発表を行った。

発表したグループは、「樹木G8」「湧く湧く29」「穴場探し29」「歴策29」「佐倉ユニカール29」の5グループであった。

(4) 卒業式・修了式

入学式・始業式と同様に、学年ごとに行った。

卒業式は2月7日(火)に行われ、皆勤者5人を含む佐倉市民カレッジ第27期生63人が、今後の活躍を胸に秘めながら卒業証書を手にした。

西田三十五総長は、「皆様は、新型コロナウイルス感染症による休校期間を含め5年間、健康に留意されながら、学習活動を継続してこられました。コロナ禍の試練を乗り越え、無事学業を修了されましたことは、皆様の人生にとりまして大きな意味を持つものと存じます。今日の喜びを学友同士で分かち合うだけでなく、カレッジ生活を支えてくださったご家族にも、ぜひ、感謝の気持ちをお伝えいただきたいと思います。市民カレッジの建学の精神は、「為すことによって学び、学ぶことによりお互いを高めあい、他に尽くす」でございます。卒業後も、縁あって出会った多くの仲間と共に力を合わせ、日々充実した思いを持ち、益々ご活躍されますことをご期待申し上げます。」(抜粋)との言葉を述べた。

修了式は2月8日(水)に3年生、翌9日(木)に2年生、その翌日10日(金)に1年生について行われた。

8. 佐倉市民カレッジ生の課外活動

カレッジ生は自主的に団体を結成し、学習日以外にも積極的に活動している。日頃の学習とは異なり、趣味を深める活動、ボランティア活動及び地域活動など多岐にわたる。卒業生と現役カレッジ生と一緒に活動している団体もあり、その多くは、任意団体であるが、中には特定非営利活動法人もある。

中央公民館では、カレッジ園芸が、異学年や卒業生と交流を深めつつ、公民館周辺の花壇の管理、環境美化をボランティア活動として行っている。四季折々の花が来館者の目を楽しませている。

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第1学年学習予定表(1)

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.13 (金)		*		式典	入学式・カレッジ概要	総長 館長
2	5.20 (金)	オリエンテーション	ホームルーム・自己紹介・役員選出等	社会教育指導員		*	
3	5.27 (金)	ホームルーム	ホームルーム/ 佐倉市の概要について	社会教育指導員/ 企画政策課		*	
4	6.3 (金)	健康づくり (1)	ウォークラリー 坂道・小径をたどり 城下町佐倉を歩く (雨天時6.10と入替)	社会教育指導員 元気コース4年生		*	
5	6.10 (金)	生涯学習の 楽しさ(1)	ホームルーム (ウォークラリーのまとめ、 文化祭に向けて)	社会教育指導員		*	
6	6.17 (金)	地域を知る (1)	各地区の成り立ち 佐倉の歴史概要	文化課		*	
7	6.24 (金)	地域活動 (1)	自治会等の役割と 市民協働について	自治人権推進課		*	
8	7.1 (金)	人権	男女平等参画について	城西国際大学 国際人文学部 国際文化学科准教授 遠藤恵子		*	
9	7.8 (金)	地域活動(2)	1組 地域活動の実践者 に学ぶ(現地視察)	一里塚、手づくり工房さくら		*	
		私の生きがい (1)	2組 私の生きがい	社会教育指導員		*	
10	7.15 (金)	私の生きがい (2)	1組 私の生きがい	社会教育指導員		*	
		地域活動(3)	2組 地域活動の実践者 に学ぶ(現地視察)	一里塚、手づくり工房さくら		*	
11	9.2 (金)	私の生きがい (3)	私の生きがい発表	社会教育指導員		*	
12	9.9 (金)	健康づくり (2)	楽しみながらできる 健康づくり	順天堂大学 名誉教授 武井正子		*	
13	9.16 (金)	芸術・文化 (1)	ミテ・ハナソウ体験	佐倉市立美術館		*	
14	9.30 (金)		*		自然と環境 (1)	水環境と人間生活	元印旛沼環境基金 上席研究員 本橋敬之助
15	10.7 (金)	地域活動 (4)	佐原まちぐるみ 博物館に学ぶ	佐原 おかみさん会		*	
16	10.14 (金)	社会福祉 (1)	佐倉市の地域福祉	佐倉市社会福祉 協議会		*	

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第1学年学習予定表(2)

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
17	10.21 (金)	世代間交流 (1)	世代間交流 動画作成に向けて①	社会教育指導員		*	
18	10.28 (金)	自然と環境 (2)	里山の生態	東京情報大学 名誉教授 原 慶太郎		*	
19	11.4 (金)	世代間交流 (2)	世代間交流 動画作成に向けて②	社会教育指導員		*	
20	11.8 (火)～ 11.11 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	市民カレッジ文化祭・研 究発表、作品展示 11.8(火)～11(金) 大ホール、学習室3他	社会教育指導員 公民館職員		*	
21	11.18 (金)	世代間交流 (3)	世代間交流 動画作成に向けて③	社会教育指導員		*	
22	11.25 (金)	市政を学ぶ	公園活用について	公園緑地課		*	
23	12.2 (金)	芸術と文化 (2)	房総ゆかりの作家 波の伊八と葛飾北斎	筑波大学名誉教授 斎藤 泰嘉		*	
24	12.9 (金)	世代間交流 (4)	絆を引き継ぐ 世代間交流	東京都健康長寿医療 センター研究所 非常勤研究員 高橋知也		*	
25	12.16 (金)	世代間交流 (5)	世代間交流 動画視聴④	社会教育指導員		*	
26	12.23 (金)	自然と環境 (3)	特定外来生物の 生態や現状と課題	千葉県 生物多様性 センター		*	
27	1.6 (金)	国際	今年の国際情勢	敬愛大学 教授 水口 章		*	
28	1.12 (木)	1・2年合同 地域活動 (5)	2年生のまちづくり 実践報告を聞く	社会教育指導員		*	
29	1.20 (金)	地域を知る (2)	佐倉市の観光・ 地域産業	商工振興課 佐倉の魅力推進課		*	
30	1.27 (金)	地域を知る (3)	佐倉市の農業	農政課		*	
31	2.3 (金)	社会福祉 (2)	高齢社会を どう生きるか ー少子高齢社会の 日本の課題ー	聖徳大学教授 川口一美		*	
32	2.10 (金)	式典	2年生に向けて・ 修了式	館長 社会教育指導員		*	

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第2学年学習予定表(1)

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.12 (木)	式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員		*	
2	5.19 (木)	まちづくり (1)	私たちのまちづくり①	社会教育指導員		*	
3	5.26 (木)	まちづくり (2) /地域活動(1)	まちづくり活動 実践者の発表/ 私たちの まちづくり②	社会教育指導員 カレッジ生・卒業生		*	
4	6.2 (木)	社会福祉	地域福祉とは	順天堂大学スポーツ 健康科学部 先任准教授 松山 毅		*	
5	6.9 (木)	地域活動 (2)	住環境と主体	千葉大学大学院 准教授 森永良丙		*	
6	6.16 (木)	まちづくり (3)	私たちのまちづくり③	社会教育指導員		*	
7	6.23 (木)	佐倉の歴史 (1)	原始古代の佐倉	文化課		*	
8	6.30 (木)	佐倉の教育	佐倉学について	佐倉市史編さん委員 内田 義久		*	
9	7.7 (木)	まちづくり (4)	私たちのまちづくり④	社会教育指導員		*	
10	7.14 (木)	市政を学ぶ (1)	佐倉市の災害対策	危機管理課		*	
11	9.1 (木)		*		佐倉の歴史 (2)	絵図から見た 城下町佐倉	国学院大学 兼任講師 川名 禎
12	9.8 (木)	情報社会 (1)	人工知能 ～コンピュータに できること できないこと～	東京情報大学 准教授 マツキン・ ケネスジェームス		*	
13	9.15 (木)	家庭と法律 (1)	裁判員制度について	千葉地方検察庁		*	
14	9.16 (金)		*		佐倉の歴史 (3)	〈佐倉〉にとっての 歴史資源	中央大学文学部 人文社会学科 日本史学専攻 宮間純一
15	9.22 (木)	地域活動 (3)	社会生活と ボランティア活動	神奈川大学 教授 齊藤ゆか		*	
16	10.6 (木)		*		健康づくり	こころサポーター (ゲートキーパー) 養成研修	聖マリアンナ医科大学 神経精神科研究員 日本大学非常勤講師 田口 学

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第2学年学習予定表(2)

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
17	10.13 (木)	まちづくり (5)	私たちのまちづくり⑤	社会教育指導員		*	
18	10.20 (木)	市政を学ぶ (2)	高齢者福祉の 取り組みと認知症	高齢者福祉課		*	
19	10.27 (木)	まちづくり (6)	私たちのまちづくり⑥	社会教育指導員		*	
20	11.8 (火)～ 11.11 (金)	生涯学習の 楽しさ	市民カレッジ文化祭・研 究発表、作品展示 11.8(火)～11(金) 大ホール、学習室3他	社会教育指導員 公民館職員		*	
21	11.17 (木)	佐倉の歴史 (4)	佐倉の明治維新	成田山霊光館 学芸員 矢嶋 毅之		*	
22	11.24 (木)	家庭と法律 (2)	身近な法律知識 訴訟と人権	弁護士 法政大学法科大学院教授 高須順一		*	
23	12.1 (木)		*		まちづくり (7) / 専攻課程の 学習	私たちのまちづくり⑦/ 専攻課程の学習に 向けて 4年生コース代表説明	社会教育指導員
24	12.8 (木)	市政を学ぶ (3)	佐倉市の魅力	佐倉の魅力推進課		*	
25	12.15 (木)	自然と環境 (1)	河川湖沼の 水辺環境と 水質浄化の考え方	一般社団法人 千葉県環境財団 岩井久美子		*	
26	12.22 (木)	まちづくり (8)	私たちのまちづくり⑧	社会教育指導員		*	
27	1.5 (木)	情報社会 (2)	情報とリスク	東京情報大学 名誉教授 成瀬敏郎		*	
28	1.12 (木)	1・2年合同 まちづくり (8)	私たちのまちづくり 実践報告に向けて	社会教育指導員		*	
29	1.19 (木)	まちづくり (9)	私たちのまちづくり 実践報告	総長		*	
30	1.26 (木)	市政を学ぶ (4)	佐倉市の空き家対策	住宅課		*	
31	2.2 (木)	佐倉の歴史 (5)	平成の佐倉市と カレッジ史	佐倉市史編さん委員 内田儀久		*	
32	2.9 (木)	式典	3年生に向けて/ 修了式	館長 社会教育指導員		*	

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース（1）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.11 (水)	式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員		*	
2	5.18 (水)	初エンタテイン	コース概要・ ホームルーム	社会教育指導員 福祉コース 卒業生		*	
3	5.25 (水)		*		福祉サービス (1)	福祉サービス提供の 基本視点	社会福祉法人誠友会 理事長 竹内 淳
4	6.8 (水)	健康づくり	自力整体と笑いヨガ	自力整体 ナビゲーター 秋田美智子		*	
5	6.29 (水)	介護演習 (1)	車椅子の種類・構造、 介助方法について	佐倉ホワイエ		*	
6	7.6 (水)	障害福祉 (1)	障害者(児)福祉制度 の概要とサービス内容	NPO法人 千葉市 視覚障害者協会 副理事長 高梨憲司		*	
7	7.13 (水)	4コース合同 講演会	過去の災害から学ぶ 防災対策 -私たちにできること-	防災コミュニティ ネットワーク代表 青木 信夫		*	
8	8.31 (水)	子育て支援(1)	佐倉市民による子育て 支援参加の可能性	千葉敬愛短期大学 教授 吉村真理子		*	
9	9.21 (水)	障害福祉 (2)	視覚障害を理解する	千葉県立 千葉盲学校		*	
10	10.5 (水)	生活と健康 (1)	高齢期の栄養と 食生活のあり方	栄養士 六崎美知代		*	
11	10.19 (水)	介護演習 (2)	介護技術の基礎 (食事介助)	佐倉白翠園		*	

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース(2)

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
12	11.2 (水)	福祉サービス (2)	介護保険制度の概要と サービス内容	介護保険課		*	
13	11.8 (火)～ 11.11 (金)	生涯学習の 楽しさ	市民カレッジ文化祭・研 究発表、作品展示 11.8(火)～11(金) 大ホール、学習室3他	社会教育指導員 公民館職員		*	
14	11.16 (水)	生活と健康 (2)	高齢者に多い 疾患の基礎知識と 予防・対処方法	佐倉白翠園 看護長 後田恵子		*	
15	11.30 (水)	福祉サービス (3)	地域包括支援センター について	佐倉市南部地域 包括支援センター		*	
16	12.7 (水)	ボランティア活動の 実践に向けて (1)	福祉施設交流に向けて (動画作成)	社会教育指導員		*	
17	12.14 (水)	ボランティア活動の 実践に向けて (2)	聴く技術	東京メンタルヘルス チーフカウンセラー 淵上規后子		*	
18	12.21 (水)		*		3年福祉元気 合同 生活と健康 (3)	楽しむ喜びと 食べることの意義	歯学博士 鳩貝尚志
19	1.11 (水)	介護演習 (3)	移乗動作と 歩行介助	佐倉ホワイエ		*	
20	1.18 (水)	障害福祉 (3)	聴覚障害を理解する	障害福祉課 佐倉市ろう者協会、 特定非営利活動法人 千葉県中途失聴者・ 難聴者協会		*	
21	1.25 (水)		*		子育て支援(2)	子どもの貧困について	千葉県スクール ソーシャル ワーカー 飯野弥生
22	2.8 (水)	式典	4年生に向けて/ 修了式	館長 社会教育指導員		*	

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース（1）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.11 (水)	式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員		*	
2	5.18 (水)	初エンターション	ホームルーム・ コース概要	社会教育指導員		*	
3	5.25 (水)	歴史散策 (1)	大佐倉の歴史散策 集合9時20分 京成大佐倉駅改札口外	酒々井町 文化財審議会 会長 高橋健一		*	
4	6.1 (水)	佐倉市の歴史 (1)	中世佐倉の道	東金市文化財審議会 会長 市文化財審議委員 遠山成一		*	
5	6.15 (水)	歴史散策 (2)	臼井の歴史散策 集合9時20分 京成臼井駅北口 ※雨天のため座学	臼井の案内人 滑川 洋子		*	
6	6.22 (水)	佐倉市の歴史 (2)	佐藤泰然と 佐倉順天堂	文化課		*	
7	7.13 (水)	4コース合同 講演会	過去の災害から学ぶ 防災対策 -私たちにできること-	防災コミュニティ ネットワーク代表 青木 信夫		*	
8	9.14 (水)	佐倉市の歴史 (3)	佐倉藩士と沼津兵学校	国立歴史民俗博物館 教授 樋口雄彦		*	
9	9.21 (水)		*		佐倉市の歴史 (4)	本佐倉城跡と臼井城跡の 発掘成果と 東国の戦国時代	国立歴史民俗博物館 名誉教授 小野正敏
10	9.28 (水)	佐倉市の歴史 (5)	佐倉城下町の 祭礼文化について	祭礼文化研究家 鶴岡 勝人		*	
11	10.14 (金)	日本遺産 町並み散策	【日本遺産北総四都市 江戸紀行】 成田山の歴史を学ぶ 午前10時10分JR成田駅 改札口外集合 午後希望者 向け見学コースあり	成田山 ボランティアガイド		*	

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース(2)

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
12	10.26 (水)	歴史散策 (3)	佐倉地区の歴史散策 9時30分市民体育館集 合	NPO法人 佐倉一里塚		*	
13	11.8 (火)～ 11.11 (金)	生涯学習の 楽しさ	市民カレッジ文化祭・研 究発表、作品展示 11.8(火)～11(金) 大ホール、学習室3他	社会教育指導員 公民館職員		*	
14	11.16 (水)	歴史散策 (4)	志津の歴史散策 9時45分 ユーカリが 丘線中学校駅集合	NPO法人 佐倉一里塚		*	
15	11.30 (水)	郷土の先覚者 (1)	浅井忠と 佐倉ゆかりの芸術家	佐倉市立美術館		*	
16	12.7 (水)		*		佐倉市の歴史 (6)	佐倉牧	市文化財審議委員 立教大学兼任講師 國學院大学兼任講師 高見澤美紀
17	12.14 (水)	佐倉市の歴史 (7)	古今佐倉真佐子に ついて	佐倉市史編さん委員 外山信司		*	
18	12.21 (水)	佐倉市の歴史 (8)	佐倉の歴史的建築物	市文化財審議委員、 国立歴史民俗博物館 名誉教授 濱島正士		*	
19	1.11 (水)		*		佐倉市の歴史 (9)	中世佐倉の鹿島郷	酒々井町 文化財審議会会長 高橋健一
20	1.18 (水)		*		郷土の先覚者 (2)	津田仙 近代農業のさきがけ	津田仙の曾孫 津田道夫
21	1.25 (水)	歴史コースの まとめに向けて	カレッジ生が 取り組みたい 研究テーマ (各自発表)	市史編さん委員 内田儀久		*	
22	2.8 (水)	式典	4年生に向けて/ 修了式	館長 社会教育指導員		*	

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース（1）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.11 (水)	式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員		*	
2	5.18 (水)	オリエンテーション	ホームルーム・ コース概要	社会教育指導員		*	
3	5.25 (水)	情報化時代の 学習（1）	インターネットと 生きる 『信じ方の癖、 伝え方の鍵』	合同会社環賢堂 代表社員 玉木 勝		*	
4	6.1 (水)	課題学習 （1）	情報発信 ① 企画会議	社会教育指導員		*	
5	6.15 (水)	情報化時代の 学習（2）	情報化社会と著作権	(一社)コンピュータクリエイティブ 著作権協会 専務理事 久保田 裕		*	
6	6.22 (水)	課題学習 （2）	情報発信 ② シナリオづくり	社会教育指導員		*	
7	7.13 (水)	4コース合同 講演会	過去の災害から学ぶ 防災対策 -私たちにできること-	防災コミュニティ ネットワーク代表 青木 信夫		*	
8	9.14 (水)	課題学習 （3）	情報発信 ③ 撮影・編集会議	社会教育指導員		*	
9	9.21 (水)		*		情報伝達の技術 （1）	ワードを使おう①	情報コース卒業生
10	9.28 (水)	情報伝達の技術 （2）	ワードを使おう②	情報コース卒業生		*	
11	10.12 (水)	情報伝達の技術 （3）	ワードを使おう③	情報コース卒業生		*	

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース(2)

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
12	10.26 (水)		*		情報化時代の 学習(3)	インターネット ウィルスの歴史	東京情報大学 准教授 岸本頼紀
13	11.8 (火)～ 11.11 (金)	生涯学習の 楽しさ	市民カレッジ文化祭・研 究発表、作品展示 11.8(火)～11(金) 大ホール、学習室3他	社会教育指導員 公民館職員		*	
14	11.16 (水)	情報化時代の 学習(4)	インターネット活用術①	株式会社 教育システム 本間 達哉		*	
15	11.30 (水)		*		情報化時代の 学習(5)	スマホの活用	ドコモショップ 志津店
16	12.7 (水)		*		情報化時代の 学習(6)	おカネとITの 経営戦略	東京情報大学 准教授 樋口大輔
17	12.14 (水)	情報伝達の技術 (4)	ワードを使おう④	情報コース卒業生		*	
18	12.21 (水)	情報伝達の技術 (5)	パワーポイント①	情報コース卒業生		*	
19	1.11 (水)		*		課題学習 (4)	情報発信 ④ 編集確認	社会教育指導員
20	1.18 (水)	情報伝達の技術 (6)	パワーポイント②	情報コース卒業生		*	
21	1.25 (水)	課題学習 (5)	情報発信 ⑤ 上映発表	社会教育指導員		*	
22	2.8 (水)	式典	4年生に向けて/ 修了式	館長 社会教育指導員		*	

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース（1）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.11 (水)	式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員		*	
2	5.18 (水)	オリエンテーション	ホームルーム・ コース概要	社会教育指導員		*	
3	5.25 (水)		*		課題学習 (1)	ウォークラリー コースを作ろう①	社会教育指導員
4	6.8 (水)	生活と健康 (1)	熱中症予防と水分補給 ～暑さに向かって～	NPOニッポン ランナーズ ランニングコーチ 中田修弘		*	
5	6.29 (水)	課題学習 (2)	ウォークラリー コースを作ろう②	社会教育指導員		*	
6	7.6 (水)	生活と健康 (2)	チームワークを考える	順天堂大学 スポーツ健康科学部 教授 水野基樹		*	
7	7.13 (水)	4コース合同 講演会	過去の災害から学ぶ 防災対策 -私たちにできること-	防災コミュニティ ネットワーク代表 青木 信夫		*	
8	9.7 (水)	健康づくり (1)	フレイル予防講座①	明治安田生命		*	
9	9.21 (水)	健康づくり (2)	太極拳 静かな動きを 体験しよう	佐倉太極拳同好会 嶋田桂子 服部陽子		*	
10	10.5 (水)	健康づくり (3)	フレイル予防講座②	明治安田生命		*	
11	10.19 (水)		*		病理と予防 (1)	高齢期の健康法	順天堂大学 名誉教授 武井正子

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース(2)

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
12	11.2 (水)	課題学習 (3)	ウォークラリー コースを作ろう③	社会教育指導員		*	
13	11.8 (火)～ 11.11 (金)	生涯学習の 楽しさ(1)	市民カレッジ文化祭・研 究発表、作品展示 11.8(火)～11(金) 大ホール、学習室3他	社会教育指導員 公民館職員		*	
14	11.16 (水)	健康づくり (4)	タオルで簡単 ストレッチ	インストラクター 関根 美和		*	
15	11.29 (火)	病理と予防 (2)	体組成測定と 健康づくり (3年元気4年元気 合同)	健康推進課		*	
16	12.7 (水)	課題学習 (4)	ウォークラリー コースを作ろう④	社会教育指導員		*	
17	12.14 (水)	病理と予防 (3)	生活習慣病と健康	日本ウェルネス スポーツ大学 教授 鈴木勝彦		*	
18	12.21 (水)		*		3年福祉元気 合同 生活と健康 (3)	噛む喜びと 食べることの意義	歯学博士 鳩貝尚志
19	1.11 (水)	生活と健康 (4)	薬と生活習慣	(株) 健栄		*	
20	1.18 (水)	生涯学習の 楽しさ(2)	歓迎ウォークラリー に向けて①	社会教育指導員		*	
21	1.25 (水)		*		生涯学習の 楽しさ(3)	歓迎ウォークラリー に向けて②	社会教育指導員
22	2.8 (水)	式典	4年生に向けて/ 修了式	館長 社会教育指導員		*	

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース (1)

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.10 (火)		*		式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員
2	5.17 (火)	学び合い学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員		*	
3	5.24 (火)	自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて 自主的に学習する①	社会教育指導員		*	
4	6.7 (火)	ボランティア活動の 実践に向けて (1)	ボランティア活動への 心構え	佐倉白翠園		*	
5	6.14 (火)	障害福祉 (1)	知的障害の特性	木の宮学園		*	
6	6.21 (火)	学び合い学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員		*	
7	7.5 (火)	健康づくり	元気なうちから始める 介護予防	高齢者福祉課		*	
8	7.12 (火)	学び合い学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員		*	
9	7.19 (火)		*		4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	エッセイスト 高比良直美
10	9.6 (火)	2コース合同 体験学習	草ぶえの丘で 陶芸を楽しむ 集合 午前9時20分 草ぶえの丘	草ぶえの丘		*	
11	9.13 (火)	自主企画講座 (2)	自主企画講座実施	社会教育指導員		*	

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース (2)

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
12	9.20 (火)	学び合い学習 (4)	学び合い学習に向けて ④	社会教育指導員		*	
13	10.4 (火)		*		学び合い学習 (5)	情報コースによる パソコンイベント/ 歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員
14	10.18 (火)		*		学び合い学習 (6)	情報コースを招待して/ 歴史コースを招待して	社会教育指導員
15	10.25 (火)		*		学び合い学習 (7)	元気コースによる 健康づくり/元気コース を招待して	社会教育指導員
16	11.1 (火)	ボランティア活動の 実践に向けて (2)	ここに触れる生かす カウンセリング	東京メンタルヘルス チーフカウンセラー 淵上規后子		*	
17	11.8 (火)～ 11.11 (金)	生涯学習の 楽しさ	市民カレッジ文化祭・研 究発表、作品展示 11.8 (火)～11 (金) 大ホール、学習室3他	社会教育指導員 公民館職員		*	
18	11.29 (火)	ボランティア活動の 実践に向けて (3)	傾聴心得	東京メンタルヘルス チーフカウンセラー 淵上規后子		*	
19	12.20 (火)	障害福祉 (2)	障がい者とスポーツ	順天堂大学 スポーツ 健康科学部 准教授 渡 正		*	
20	1.10 (火)	学習のまとめ/ ホームルーム	福祉活動の実践に向けて /卒業に向けて	社会教育指導員		*	
21	1.17 (火)		*		4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす —各コース代表発表—	社会教育指導員
22	1.24 (火)		*		4コース合同 講演会/ ホームルーム	新たな出発/ 卒業式練習	佐倉市 社会福祉協議会
23	2.7 (火)		*		カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース(1)

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.10 (火)		*		式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員
2	5.17 (火)	学び合い学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員		*	
3	5.24 (火)	自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて 自主的に学習する①	社会教育指導員		*	
4	5.31 (火)	日本遺産 町並み散策(1)	【日本遺産北総四都市 江戸紀行】 新町の歴史散策 10時00分 中央公民館出発	酒々井町 文化財審議会 会長 高橋健一		*	
5	6.14 (火)	学び合い学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員		*	
6	6.28 (火)	日本遺産 町並み散策(2)	【日本遺産北総四都市江戸紀 行】「佐原のまちづくりを学 ぶ」(散策) 集合 午前9 時25分 JR成田駅改札口 の中 午後希望者向け見学 コースあり	NPO法人 小野川と 佐原の町並みを 考える会		*	
7	7.12 (火)	佐倉市の歴史 (1)	幕末明治に海を渡った 佐倉人	市史編さん委員 内田儀久		*	
8	7.19 (火)		*		4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	エッセイスト 高比良直美
9	9.6 (火)	学び合い学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員		*	
10	9.13 (火)	2コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察 と陶芸を楽しむー卒業 記念作品の制作ー 集合 午前9時20分 草ぶえの丘	草ぶえの丘		*	
11	9.27 (火)	学び合い学習 (4)	学び合い学習に向けて ④	社会教育指導員		*	

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース(2)

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
12	10.4 (火)		*		学び合い学習 (5)	元気コースを招待して 佐倉の史跡案内/ 福祉コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員
13	10.18 (火)		*		学び合い学習 (6)	元気コースによる 健康づくり/ 福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員
14	10.25 (火)		*		学び合い学習 (7)	情報コースによる パソコンイベント/情報 コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員
15	11.4 (金)	佐倉市の歴史 (2)	堀田正倫と 地域の関わり	中央大学文学部 人文社会科学科 日本史学専攻 官間純一		*	
16	11.8 (火) ～ 11.11 (金)	生涯学習の 楽しさ	市民カレッジ文化祭・ 研究発表、作品展示 11.8(火)～11(金) 大ホール、学習室3他	社会教育指導員 公民館職員		*	
17	11.29 (火)	佐倉市の歴史 (3)	佐倉炭	千葉市立郷土博物館 市史編さん担当 土屋雅人		*	
18	12.13 (火)	地域活動	これからの博物館で 必要なこと・ 歴博を楽しむ	国立歴史民俗博物館 館長 西谷 大		*	
19	12.20 (火)	自主企画講座 (2)	自主企画講座実施	社会教育指導員		*	
20	1.10 (火)	学習のまとめ	研究論文の発表	社会教育指導員 元社会教育指導員 内田儀久		*	
21	1.17 (火)		*		4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす —各コース代表発表—	社会教育指導員
22	1.24 (火)		*		4コース合同 講演会/ ホームルーム	新たな出発/ 卒業式練習	佐倉市 社会福祉協議会
23	2.7 (火)		*		カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース(1)

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.10 (火)		*		式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員
2	5.17 (火)	学び合い学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員		*	
3	5.24 (火)	自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて自 主的に学習する①	社会教育指導員		*	
4	5.31 (火)	情報化時代の 学習(1)	映像作品ができるまで	広域高速ネット 296放送制作部 課長補佐 平川裕		*	
5	6.14 (火)	学び合い学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員		*	
6	6.28 (火)	情報伝達の技術 (1)	エクセルにチャレンジ①	情報コース卒業生		*	
7	7.12 (火)	学び合い学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員		*	
8	7.19 (火)		*		4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	エッセイスト 高比良直美
9	9.6 (火)	学び合い学習 (4)	学び合い学習に向けて ④	社会教育指導員		*	
10	9.13 (火)	2コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と 陶芸を楽しむ 集合 午前9時20分 草ぶえの丘	草ぶえの丘		*	
11	9.27 (火)	学び合い学習 (5)	学び合い学習に向けて ⑤	社会教育指導員		*	

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース(2)

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
12	10.4 (火)		*		学び合い学習 (6)	福祉コースを招待して パソコンイベント/ 元気コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員
13	10.18 (火)		*		学び合い学習 (7)	福祉コースによる 家庭介護実習/ 元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員
14	10.25 (火)		*		学び合い学習 (8)	歴史コースを招待して パソコンイベント/ 歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員
15	11.8 (火)～ 11.11 (金)	生涯学習の 楽しさ	市民カレッジ文化祭・研 究発表、作品展示 11.8(火)～11(金) 大ホール、学習室3他	社会教育指導員 公民館職員		*	
16	11.15 (火)	情報伝達の技術 (2)	エクセルにチャレンジ②	情報コース卒業生		*	
17	11.29 (火)		*		自主企画講座 (2)	自主企画講座実施	社会教育指導員
18	12.13 (火)	情報化時代の 学習(2)	ウィキペディア	ウィキペディア 日本語版元管理者 海瀬		*	
19	12.20 (火)		*		情報化時代の 学習(3)	千葉食べる通信	編集長 佐藤謙太
20	1.10 (火)		*		学習のまとめ/ ホームルーム	振り返り/ 卒業に向けて	社会教育指導員
21	1.17 (火)		*		4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす —各コース代表発表—	社会教育指導員
22	1.24 (火)		*		4コース合同 講演会/ ホームルーム	新たな出発/ 卒業式練習	佐倉市 社会福祉協議会
23	2.7 (火)		*		カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース(1)

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.10 (火)		*		式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員
2	5.17 (火)	地域活動 (1)	ウォークラリーに向けて	社会教育指導員		*	
3	5.24 (火)	学び合い学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員		*	
4	6.3 (金)	地域活動 (2)	坂道・小径をたどり 城下町佐倉を歩く (1年ウォークラリー 雨天の場合は6/10)	社会教育指導員		*	
5	6.7 (火)		*		地域活動 (3)	ターゲットバード ゴルフ 晴天：佐倉市ターゲット バードゴルフ場 雨天：大ホール	佐倉市 ターゲット バードゴルフ協会 伊藤園彦
6	7.5 (火)		*		自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて 自主的に学習する①	社会教育指導員
7	7.12 (火)		*		健康づくり	自力整体と笑いヨガ	自力整体 インストラクター 秋田美智子
8	7.19 (火)		*		4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	エッセイスト 高比良直美
9	9.6 (火)	2コース合同 体験学習	草ぶえの丘で 陶芸を楽しむ 集合 午前9時20分 草ぶえの丘	草ぶえの丘		*	
10	9.13 (火)		*		学び合い学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員
11	9.20 (火)		*		学び合い学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース(2)

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
12	10.4 (火)		*		学び合い学習 (4)	歴史コースによる 佐倉の史跡案内/ 情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員
13	10.18 (火)		*		学び合い学習 (5)	歴史コースを招待して 健康づくり/ 情報コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員
14	10.25 (火)		*		学び合い学習 (6)	福祉コースを招待して 健康づくり/ 福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員
15	11.8 (火)～ 11.11 (金)	生涯学習の 楽しさ	市民カレッジ文化祭・研 究発表、作品展示 11.8(火)～11(金) 大ホール、学習室3他	社会教育指導員 公民館職員		*	
16	11.15 (火)		*		自主企画講座 (2)	自主企画講座実施	社会教育指導員
17	11.29 (火)	病理と予防	体組成測定と 健康づくり (3年元気4年元気 合同)	健康推進課		*	
18	12.13 (火)	地域活動 (4)	レクリエーション	日本 レクリエーション 協会 田端 知恵子		*	
19	12.20 (火)		*		地域活動 (5)	ノルディック・ ウォーク	千葉県 ノルディック・ ウォーク連盟
20	1.10 (火)	学習のまとめ/ ホームルーム	卒業後の健康づくり/ 卒業に向けて	社会教育指導員		*	
21	1.17 (火)		*		4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす —各コース代表発表—	社会教育指導員
22	1.24 (火)		*		4コース合同 講演会/ ホームルーム	新たな出発/ 卒業式練習	佐倉市 社会福祉協議会
23	2.7 (火)		*		カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長

5. 団体育成事業

佐倉地区子ども会育成会連絡協議会

- ①開設趣旨 佐倉地区子連は、佐倉地区の子ども会及び子ども会を取り巻く諸関係機関団体との連絡・調整を図り、各単位子ども会の健全な発展に寄与することを目的として結成された。しかしながら、昨今の少子化、女性の就労に伴い、現在、佐倉地区子連は全ての子ども会が退会し、活動休止となっている。佐倉地区連の備品の貸出は事務局が対応している。

6. 広報事業

ホームページ

- ①ねらい 中央公民館の利用案内・主催事業等を掲載し、情報を提供する。
- ②提供方法 佐倉市ホームページ
URL : <http://www.city.sakura.lg.jp/soshiki/chuokominkan/index.html>
- ③内容 主な掲載内容は以下のとおり。
- ・施設の利用案内
 - ・佐倉市民カレッジ等主催事業の参加者募集
 - ・各年度の『公民館のまとめ』
 - ・佐倉市公民館運営審議会会議録
 - ・視聴覚教材ライブラリーの貸出・使用方法等の案内
 - ・新型コロナウイルスの感染状況に関する情報
 - ・新型コロナウイルス感染防止のための利用案内及び開館状況に関する情報
- ④展望 SNSの発信により、市の広報紙を見る機会がない方へも、利用案内や主催事業等を、今後も継続して逐次お知らせする。また、自然災害や感染症等の影響を受けた中での開館状況についても、状況の変化に応じ、より速やかに情報を更新する。

SNS

- ①ねらい
- 1 若年層や公民館を認知していなかった方たちに情報を届ける。
 - 2 予約不要・無料のスペースの情報を発信し、活用を図る。
 - 3 予約開始日や開館時間などの施設情報を発信し、利用者の利便性向上を目指す。
 - 4 中央公民館を利用しているサークルの新規会員募集やイベント周知の支援を行い、中央公民館を利用する団体を増やしていく。
- ②提供方法 ツイッターとフェイスブック
ツイッターアカウント名 : @sakura_chuokou
フェイスブック :
https://www.facebook.com/sakura.chuo.kouminkan/?modal=admin_todo_tour
- ③内容 投稿は、写真他短いテキスト(ツイッターでは140字以内)で作られた記事を、インターネットを使ってSNSページに投稿することにより行う。
- 【主な投稿内容】
- ・公民館のルールや部屋の紹介
 - ・主催イベントの周知、イベントの活動報告
 - ・定期利用申込受付日、2カ月前及び1か月前申し込み日、4カ月前先行予約日の周知
 - ・当館のなかでの出来事
 - ・市民カレッジ活動紹介
 - ・新型コロナウイルスの感染状況による開館状況に関する情報
- ④展望 佐倉市立中央公民館の利用者数は減少傾向にあり、その原因としては、これまで

公民館を利用していた方々が高齢化のため公民館での活動をやめていること、そして、当館が新しい利用者を取り込めていないこと等が考えられる。中央公民館の活動や施設利用の情報、利用団体の情報などをSNSにより発信し、これまで公民館を利用していなかった方たちへ情報を届けることで、より多くの方に当館を利用してもらうことを目指す。

ユーチューブチャンネル「佐倉市生涯学習チャンネル」

①ねらい 公民館などで提供している生涯学習コンテンツをインターネットで動画配信するために、専用ユーチューブチャンネルを開設することで、リモート受講やアーカイブ化を可能にするとともに、講座申込のPRに活用する。

②提供方法 ユーチューブ

URL : https://www.youtube.com/channel/UC_Evupe1eNMbwI_VHW-j4Q

③実施内容 ・講座・講演会の動画配信（講師の承諾が得られる場合）

- ・職員が作成した生涯学習動画
- ・公民館活動団体と協力して作成した動画
- ・公民館からのお知らせなど（施設利用、機材の紹介、修繕報告など）
- ・市民カレッジにおける利用（コロナ対応での活用や動画作成授業等）

※生涯学習的な内容であれば、公民館だけではなく、他所属作成動画でも利用できるものとする。

※著作権等の取扱いについては、広報課作成の広報番組の取扱いに準じて扱うものとし、肖像権及び著作権等の利用について承諾をいただく。

④展望 本年度は、主催事業講座の様子を撮影した動画を配信した。動画という形に残ることで、視聴者は繰り返し視聴して講座内容への理解を深めることができるという動画配信ならではの利点に改めて気づかされる。今後も、多彩な公民館事業の動画により、視聴者に教養を深めていただき、さらには公民館への関心を高めていただけたら幸いである。

7. 視聴覚教材ライブラリー事業

視聴覚機器貸出

- ①概要 佐倉市における視聴覚教育の振興を図るため、市内に所在する下記②の要件を満たす団体に、視聴覚ライブラリー機材（プロジェクター、スクリーン、DVDプレーヤー等）及び教材（DVD、ビデオテープ等）の無料貸出を行う。
- ②対象
- ・代表者が市内在住であり、市内在住者が概ね半数以上かつ原則3人以上の団体
 - ・学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する学校
 - ・児童福祉法（昭和22年法律第164号）第24条第1項に規定する保育所又は同条第2項に規定する認定こども園
 - ・官公署
 - ・その他教育委員会が必要と認める団体
- ③貸出機器
- 機材
 - ・プロジェクター
 - ・スクリーン
 - ・DVDプレーヤー
 - ・移動音響セット
 - ・スピーカー ほか
 - 教材
 - ・DVD
 - ・ビデオテープ
- ④展望 機材の整備を適宜に行い、市民のニーズに沿った事業運営に努める。